

Dx型CO2削減対策実行支援事業 成果報告書（まとめ）

GAJ番号 XXXXXXXX

交付決定通知書に記載のGAJ番号を記入する。

【実施計画】

プルダウンメニューから「DX」または「ー」を選択する。

※1 自動計算・自動転記セル（網掛け）には直接入力しないこと。

入力セル

プルダウンメニュー選択セル

自動計算・自動転記セル

対 目 策 項	DX シ ス テ ム の 有 無	対 策 個 数	対策の種類	対策内容	導入設備	実施年度 (取組み開始時期)	①	②	③	④	⑤
							費用 (円)	CO2排出削減 目標量 (t-CO2/年)	ランニングコスト 削減目標量 (円/年)	法定耐用年数 (年)	②*④ (t-CO2)
D X シ ス テ ム に よ る 計 測	D X	1	設備導入（更新）	コンプレッサーの更新	電動コンプレッサー	令和8年度 4月	10,000,000	117	6,502,500	12	1,404
	D X	2	運用改善	コンプレッサーの吐出圧力低減による消費電力削減対策		令和7年度 9月	200,000	50	2,689,375		0
	ー	3	部分改修/機能付加	吐出圧力低減対策（給気口のフィルタ清掃、空気漏洩箇所の補修）		令和7年度 9月	100,000	1	-3,687		0
		4					0	0	0		0
		5					0	0	0		0
		6					0	0	0		0
		7					0	0	0		0
		8					0	0	0		0
		9					0	0	0		0
		10					0	0	0		0

※実施計画に位置付けない検討した提案対策も含め、全てを対策個票へ記載してください。
※実施年度、詳細等が不明確の場合は、未記入箇所が有って可とします。

対策個票1～10より、自動
記載される。

※プルダウンメニューから実施状況を選択する。

「実施予定」：実施計画にて策定した対策を「次年度以降等で実施する場合」

「実施中」：実勢計画にて策定した対策を「現状実施中の場合」

「実施済」：実施計画にて策定した対策が「実施済みの場合」

【実績】

対 目 策 項	DX シ ス テ ム の 有 無	対 策 個 数	対策の種類	実施状況	対策内容	CO2排出削減量 (t-CO2/年)
D X シ ス テ ム に よ る 計 測	D X	1	設備導入（更新）	実施予定	コンプレッサーの更新	ー
	D X	2	運用改善	実施済	コンプレッサーの吐出圧力低減による消費電力削減対策	33
	ー	3	部分改修/機能付加	実施中	吐出圧力低減対策（給気口のフィルタ清掃、空気漏洩箇所の補修）	0.5
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				
		9				
		10				
合 計						33.5

「実施済み」、「実施中」の対策については、
「実績見込み値」として記載する。

対策個票1～10より、自動
記載される。

対策個票1～10より、自動
記載される。

【基準年度／計画年度】

※プルダウンより、基準年度以降の年度を選択し、「目標年度」を設定する。
※「目標年度」は、改修支援への応募時の目標年度も考慮すること。

対象範囲へ記入すること。（単位：t-CO2/年）

エネルギー起源 CO2	基準年度	計画年度・CO2削減目標量				
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
事業全体	CO2排出量 (対策なし)	1,805	1,805	1,805	1,805	1,805
	CO2排出量 (対策後)	ー	1,805	1,772	1,655	1,655
	対策による CO2削減効果	ー	0	33	150	150

CO2排出量は、基準年度排出量より「自動転記」される。

対策個票2の対策実施後の
CO2排出削減量（実績見込み値）
を記入する

対策実施後のCO2排出削減量を記入する。
(例) 対策個票2(実績見込み値) + 対策個票1（計画値）でのCO2排出削減量
(33+117=150 t-CO2/年)

※SHIFT事業「省CO2型システムへの改修支援」に
応募して 対策実施予定の場合は、応募予定年度
を記入する。

令和8
(2026)

年度

応募予定年度を記入する。

該当する項目にチェックマークを付ける。

注）チェックマークが表示されない場合には、チェックマークを付ける対象セルを「FALSE」→「TRUE」と修正入力してください。

プルダウンメニューから「1年間」または「3年間」を選択する。

計算期間	1年間
------	-----

入力セル

プルダウンメニュー選択セル

自動計算・自動転記セル

令和6年度		①		②		③＝①*②	活動量	年度開始 時点の 在庫量 (※3)	月別の活動量（使用量・購買量）												年度終了 時点の 在庫量 (※3)	製品中への 注入量	備考
No.	※ 1～8は“ 別表 ”より種別を選択 ※ リスト以外については、9～10 へ直接入力（※1、※2）	活動量		CO2排出係数		年間CO2 排出量			把握対象	記入例は青文字で記入しているが、申請時は黒文字にする。													
		合計	単位	係数	単位	(t-CO2/年)	4月			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	商用電力	4,120,600	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1,804.8	使用量		335,500	336,600	337,700	345,000	356,000	357,000	349,000	335,500	336,600	337,700	345,000	349,000			
2		0				0.0																	
3		0				0.0																	
4		0				0.0																	
5		0				0.0																	
6		0				0.0																	
7		0				0.0																	
8		0				0.0																	
9		0																					
10		0																					
計						1,804.8																	

プルダウンメニューにない種別については、No.9、10に記入し、CO2排出係数、単位、活動量単位を記入する。

この表は入力不要		①		②		③＝①*②	活動量	年度開始 時点の 在庫量 (※3)	月別の活動量（使用量・購買量）										年度終了 時点の 在庫量 (※3)	製品中への 注入量	備考
No.	※ 1～8は“プルダウン”より種別を選択 ※ リスト以外については、9～10 へ直接入力（※1、※2）	活動量		CO2排出係数		年間CO2 排出量															
		合計	単位	係数	単位	(t-CO2/年)	把握対象		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	商用電力	0	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	0.0	使用量														
2		0				0.0															
3		0				0.0															
4		0				0.0															
5		0				0.0															
6		0				0.0															
7		0				0.0															
8		0				0.0															
9		0																			
10		0																			
計						0.0															

この表は入力不要		①		②		③＝①*②	活動量	年度開始 時点の 在庫量 (※3)	月別の活動量（使用量・購買量）										年度終了 時点の 在庫量 (※3)	製品中への 注入量	備考
No.	※ 1～8は“プルダ”より種別を選択 ※ リスト以外については、9～10 へ入力 (※1、※2)	活動量		CO2排出係数		年間CO2 排出量			把握対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
		合計	単位	係数	単位	(t-CO2/年)	4月			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	商用電力	0	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	0.0	使用量														
2		0				0.0															
3		0				0.0															
4		0				0.0															
5		0				0.0															
6		0				0.0															
7		0				0.0															
8		0				0.0															
9		0																			
10		0																			
計						0.0															

合計値（1年間）	1,804.8
合計値（3年間）	1,804.8
平均値（3年間）	－

注

- ※1： 単位発熱量、CO2排出係数、排出係数は、環境省ホームページ「地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック（補助事業申請者用）（令和7年3月改訂）」を参照し、本Excelシートに組込まれています。
- ※2： ガイドブックに記載の無い活動種別を使用する場合には、換算係数を入手し、そのエビデンスを提出ください。
- ※3： 年度開始時点および年度終了時点の在庫量を記載する場合、在庫量の計量に関するエビデンスを提出ください。

対策個票1

【設備導入（更新）】の記入例

GAJ No. XXXXXXXX

黄色いセルにプルダウンメニューから選択、または記入すること

対策の種類	設備導入（更新）
計画年度	令和8年度 4月

← 対策の効果が始まる年度・月を選択

- 入力セル
- プルダウンメニュー選択セル
- 自動計算・自動転記セル

A	対策	内容	コンプレッサーの更新	対策内容を記入する。
		費用	10,000,000 円	
B	CO2排出削減目標量		117.0 t-CO2/年	
C	ランニングコスト削減目標量		6,502,500 円/年	
		電動コンプレッサー		
			別表第2 機械及び装置の耐用年数表	
			18	法定耐用年数に関する事項を記入する。
			生産用機械器具、製造業用設備	
			その他の設備	
			12 年	

下記のプルダウンメニューから、該当する項目を選択する。

- ・設備導入（更新）
- ・運用改善
- ・部分改修/機能付加
- ・電化
- ・燃料 低炭素化
- ・電力 低炭素化

※1 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力をしてはいけません。

対策実施【前】										
No.	No.1～8は種別リストから選択し、リスト以外についてはNo.9～10に直接入力する。	①		②		③=①*②		④		⑤=①*④
		年間消費量	単位	CO2排出係数	単位	年間CO2排出量 (t-CO2/年)	単価	単位	年間ランニングコスト (円/年)	
1	商用電力	4,120,600	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1804.8	25	円/kWh	103,015,000	
2						0.0			0	
3						0.0			0	
4						0.0			0	
5						0.0			0	
6						0.0			0	
7						0.0			0	
8						0.0			0	
9			〇/年		t-CO2/〇	0.0		円/〇	0	
10			□/年		t-CO2/□	0.0		円/□	0	
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容	メンテナンス費用		費用(円)	400,000	
b										
エネルギー費用以外にかかる費用がある場合は記入する					合計(t-CO2/年)	1,804.8		合計(円)	103,415,000	

エネルギー費用以外にかかる費用がある場合は記入する

No.	対策実施【計画】								
	No.1～8は種別リストから選択し、リスト以外についてはNo.9～10に直接入力する。	①		②		③=①*②	④		⑤=①*④
		年間消費量	単位	CO2排出係数	単位	年間CO2排出量 (t-CO2/年)	単価	単位	年間ランニングコスト (円/年)
1	商用電力	3,852,500	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1,687.4	25	円/kWh	96,312,500
2						0.0			0
3						0.0			0
4						0.0			0
5						0.0			0
6						0.0			0
7						0.0			0
8						0.0			0
9			●/年		t-CO2/●	0.0		円/●	0
10			■/年		t-CO2/■	0.0		円/■	0
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容	メンテナンス費用		費用(円)	600,000
b									
					合計(t-CO2/年)	1687.4		合計(円)	96,912,500

実施結果 (DX型)	
---------------	--

※1 DX型対策の場合は、実施結果を記載すること。

※2 計算式が成立する単位を設定すること

※3 対策【前】の年間使用量は基準年度活動量と整合させること。

※4 導入前の単価は昨年度の平均単価を使用すること。

※5 料金が従量料金と基本料金で構成されている場合、昨年度の年間経費から単価を逆算して求めること。

導入後の単価は積算資料などの公的資料によること。ただし、エネルギーの種類が導入前後で同じ場合は導入前と同じ単価を使用すること。

※6 ランニングコスト削減額はCO2削減に直接係わる燃料、電力などのユーティリティの経費で評価する。

※7 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力をしないこと。

※8 クレジット売却収入益は計算に含めない。

※9 活動量からCO2排出量へ換算する係数は、環境省ホームページ掲載の、以下の図書を参照し、

地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック＜補助事業申請者用＞（令和7年3月改訂）

・掲載URL: https://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/gbhojo.html

・参照ファイル: ガイドブック（F:省エネ設備用）、計算ファイル（F:省エネ設備用）

・ガイドブックに記載のある活動種別…換算係数は、このExcelシートに組込まれています

・ガイドブックに記載のない活動種別…換算係数を手入力し、そのエビデンスを提出ください

※10 リスト以外の種別については、CO2排出係数のエビデンスを添付すること

削減目標量の算定方法

※上表に記載した情報に基づき、

- ・削減目標量 = 導入前合計エネルギー消費量 × [(導入後設備水準(効率) - 導入前設備水準(効率)) ÷ 導入後設備水準(効率)] × 排出係数の計算結果を以下に記載すること。導入前合計エネルギー消費量の把握方法(実測/推計)も記載すること。
- ・手計算で追えるように具体的に数式を記載すること。
- ・表を貼り付ける場合は、表の元になるExcelファイルも添付すること。

ここに【削減目標量の算定方法】に基づく説明を第三者が見て分かる様に記入する。
または、別紙を提出する

対策個票2

【運用改善等】の記入例

GAJ No.

XXXXXXX

黄色いセルにプルダウンメニューから選択、または記入すること

対策の種類	運用改善	プルダウンメニューから、該当する項目を選択する。
計画年度	令和7年度 9月	← 対策の効果が始まる年度を選択

- 入力セル
- プルダウンメニュー選択セル
- 自動計算・自動転記セル

A	対 策	内 容	コンプレッサーの吐出圧力低減による消費電力削減対策	
		費 用	200,000	円
B	CO2排出削減目標量		50.0	t-CO2/年
C	ランニングコスト削減目標量		2,689,375	円/年
				←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
				←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
				←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
				←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
				←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
				←設備導入（更新）以外の場合は記入不要

※1 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力しないこと。

No.	対策実施【前】								
	No.1～8は種別リストから選択し、リスト以外についてはNo.9～10に直接入力する。	①		②		③=①*②		④	⑤=①*④
		年間消費量	単位	CO2排出係数	単位	年間CO2排出量 (t-CO2/年)	単価	単位	年間ランニングコスト (円/年)
1	商用電力	3,852,500	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1,687.4	25	円/kWh	96,312,500
2						0.0			0
3						0.0			0
4						0.0			0
5						0.0			0
6						0.0			0
7						0.0			0
8						0.0			0
9			〇/年		t-CO2/〇	0.0		円/〇	0
10			□/年		t-CO2/□	0.0		円/□	0
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容			費用(円)	
b					合計(t-CO2/年)	1,687.4		合計(円)	96,312,500

No.	対策実施【計画】								
	No.1～8は種別リスト から選択し、リスト以外 についてはNo.9～10に 直接入力する。	①		②		③=①*②	④		⑤=①*④
		年間消費量	単位	CO2排出係数	単位	年間CO2排出量 (t-CO2/年)	単価	単位	年間ランニングコスト (円/年)
1	商用電力	3,736,925	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1,636.8	25	円/kWh	93,423,125
2						0.0			0
3						0.0			0
4						0.0			0
5						0.0			0
6						0.0			0
7						0.0			0
8						0.0			0
9			●/年		t-CO2/●	0.0		円/●	0
10			■/年		t-CO2/■	0.0		円/■	0
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容	メンテナンス費用		費用(円)	200,000
b									
					合計(t-CO2/年)	1636.8		合計(円)	93,623,125

実施結果 (DX型)	プロセス側（使用側）の圧力（0.40～0.48MPa）に対し、コンプレッサー吐出圧を0.70MPaへ減圧して使用していたが、コンプレッサー吐出圧を設定を0.70MPaから0.60MPaへ変更して運用する改善を実施し、コンプレッサーの消費電力削減を実施した。
---------------	--

- ※1 DX型対策の場合は、実施結果を記載すること。
- ※2 計算式が成立する単位を設定すること
- ※3 対策【前】の年間使用量は基準年度活動量と整合させること。
- ※4 導入前の単価は昨年度の平均単価を使用すること。
- ※5 料金が従量料金と基本料金で構成されている場合、昨年度の年間経費から単価を逆算して求めること。
導入後の単価は積算資料などの公的資料によること。ただし、エネルギーの種類が導入前後で同じ場合は導入前と同じ単価を使用すること。
- ※6 ランニングコスト削減額はCO2削減に直接係わる燃料、電力などのユーティリティの経費で評価する。
- ※7 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力をしないこと。
- ※8 クレジット売却収入益は計算に含めない。
- ※9 活動量からCO2排出量へ換算する係数は、環境省ホームページ掲載の、以下の図書を参照し、
地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック＜補助事業申請者用＞（令和7年3月改訂）
・掲載URL: https://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/gbhojo.html
・参照ファイル: ガイドブック（F:省エネ設備用）、計算ファイル（F:省エネ設備用）
・ガイドブックに記載のある活動種別…換算係数は、このExcelシートに組込まれています
・ガイドブックに記載のない活動種別…換算係数を手入力し、そのエビデンスを提出ください
- ※10 リスト以外の種別については、CO2排出係数のエビデンスを添付すること

削減目標量の算定方法

※上表に記載した情報に基づき、

- ・削減目標量＝導入前合計エネルギー消費量×[(導入後設備水準(効率)－導入前設備水準(効率))÷導入後設備水準(効率)]×排出係数の計算結果を以下に記載すること。導入前合計エネルギー消費量の把握方法(実測／推計)も記載すること。
- ・手計算で追えるように具体的に数式を記載すること。
- ・表を貼り付ける場合は、表の元になるExcelファイルも添付すること。

ここに【削減目標量の算定方法】に基づく説明を第三者が見て分かる様に記入する。
または、別紙を提出する

対策個票3

【部分改修/機能付加】の記入例

GAJ No.	XXXXXXX
---------	---------

黄色いセルにプルダウンメニューから選択、または記入すること

対策の種類	部分改修/機能付加	プルダウンメニューから、該当する項目を選択する。
計画年度	令和7年度 9月	← 対策の効果が始まる年度を選択

- 入力セル
- プルダウンメニュー選択セル
- 自動計算・自動転記セル

A	対 策	内 容	吐出圧力低減対策（給気口のフィルタ清掃、空気漏洩箇所の補修）	
		費 用	100000	円
B	CO2排出削減目標量		1.0	t-CO2/年
C	ランニングコスト削減目標量		-3,687	円/年
				年

- ←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
- ←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
- ←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
- ←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
- ←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
- ←設備導入（更新）以外の場合は記入不要

※1 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力をしていないこと。

対策実施【前】										
No.	No.1～8は種別リストから選択し、リスト以外についてはNo.9～10に直接入力する。	①		②		③=①*②		④		⑤=①*④
		年間消費量	単位	CO2排出係数	単位	年間CO2排出量 (t-CO2/年)	単価	単位	年間ランニングコスト (円/年)	
1	商用電力	3,852,500	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1,687.4	25	円/kWh	96,312,500	
2						0.0			0	
3						0.0			0	
4						0.0			0	
5						0.0			0	
6						0.0			0	
7						0.0			0	
8						0.0			0	
9			〇/年		t-CO2/〇	0.0		円/〇	0	
10			□/年		t-CO2/□	0.0		円/□	0	
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容			費用(円)		
b										
					合計(t-CO2/年)	1,687.4		合計(円)	96,312,500	

		対策実施【計画】							
No.	No.1～8は種別リストから選択し、リスト以外についてはNo.9～10に直接入力する。	①		②		③=①*②	④		⑤=①*④
		年間消費量	単位	CO2排出係数	単位	年間CO2排出量 (t-CO2/年)	単価	単位	年間ランニングコスト (円/年)
1	商用電力	3,848,648	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1,685.7	25	円/kWh	96,216,188
2						0.0			0
3						0.0			0
4						0.0			0
5						0.0			0
6						0.0			0
7						0.0			0
8						0.0			0
9			●/年		t-CO2/●	0.0		円/●	0
10			■/年		t-CO2/■	0.0		円/■	0
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容	補修費用		費用(円)	100,000
b									
					合計(t-CO2/年)	1685.7		合計(円)	96,316,188

実施結果 (DX型)	①給気口のフィルタ清掃を1ヶ月毎におこなった。 ②吐出圧力の低減対策として、空気漏れ箇所の補修作業を実施した。
---------------	--

※1 DX型対策の場合は、実施結果を記載すること。

※2 計算式が成立する単位を設定すること

※3 対策【前】の年間使用量は基準年度活動量と整合させること。

※4 導入前の単価は昨年度の平均単価を使用すること。

※5 料金が従量料金と基本料金で構成されている場合、昨年度の年間経費から単価を逆算して求めること。

導入後の単価は積算資料などの公的資料によること。ただし、エネルギーの種類が導入前後で同じ場合は導入前と同じ単価を使用すること。

※6 ランニングコスト削減額はCO2削減に直接係わる燃料、電力などのユーティリティの経費で評価する。

※7 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力をしないこと。

※8 クレジット売却収入益は計算に含めない。

※9 活動量からCO2排出量へ換算する係数は、環境省ホームページ掲載の、以下の図書を参照し、

地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック＜補助事業申請者用＞（令和7年3月改訂）

・掲載URL:https://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/gbhojo.html

・参照ファイル:ガイドブック（F:省エネ設備用）、計算ファイル（F:省エネ設備用）

・ガイドブックに記載のある活動種別…換算係数は、このExcelシートに組込まれています

・ガイドブックに記載のない活動種別…換算係数を手入力し、そのエビデンスを提出ください

※10 リスト以外の種別については、CO2排出係数のエビデンスを添付すること

削減目標量の算定方法

※上表に記載した情報に基づき、

- ・削減目標量 = 導入前合計エネルギー消費量 × [(導入後設備水準(効率) - 導入前設備水準(効率)) ÷ 導入後設備水準(効率)] × 排出係数の計算結果を以下に記載すること。導入前合計エネルギー消費量の把握方法(実測/推計)も記載すること。
- ・手計算で追えるように具体的に数式を記載すること。
- ・表を貼り付ける場合は、表の元になるExcelファイルも添付すること。

ここに【削減目標量の算定方法】に基づく説明を第三者が見て分かる様に記入する。
または、別紙を提出する